



春日井ロータリークラブ

2022-23 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

「仲間を増やして奉仕をしよう」



会 長：加藤 宗生
副 会 長：川瀬 治通
副 会 長：芝田 貴之
幹 事：下田 育雄
会報委員長：速水 敬志

事務局：春日井市鳥居松町 5-45
T E L：0568-81-8498
F A X：0568-82-0265
E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp
H P：https://www.kasugai-rc.org/
例会場：ホテルプラザ勝川



2022年10月7日（金）2528回（10月第1例会）

本日のプログラム

- ・点鐘
- ・国歌 「君が代」
- ・ROTARY SONG 「日も風も星も」
- ・ビジター・ゲスト紹介
- ・1982-83年度R財団奨学生 同志社大学政策学部教授
- ・米山奨学生 劉 履壮様
- ・青少年交換留学生 ブレーデン・バンデクリフ様
- ・青少年交換留学生ホストファミリー 谷口 仁恵様
- ・米山奨学金授与
- ・青少年交換留学生支援金授与
- ・米山記念奨学会感謝状授与
- ・退会記念品授与
- ・委員会報告
- ・会長挨拶
- ・卓話
- ・幹事報告
- ・点鐘

司会 会場委員会
会長 加藤 宗生君

会長 加藤 宗生君
川浦 昭彦様
劉 履壮様
ブレーデン・バンデクリフ様
谷口 仁恵様

会長 加藤 宗生君
川浦 昭彦様
幹事 下田 育雄君
会長 加藤 宗生君

【和食ランチ形式】

前菜：柿白和え 厚焼き玉子 海老芝煮
無花果胡麻かけ 焼栗

煮物：秋鯖煮付け 季節の野菜付け合わせ

食事：ご飯 赤出し

デザート：梨 ぶどう

	10月14日（金）	10月21日（金）	10月28日（金）	11月4日（金）
例会予定	例会 12:30～	例会 12:30～	ガバナー公式訪問	休会
	卓話 野間 峰彦君	祝福	11:30～会長幹事懇談会	
		卓話 未定	例会 12:30～	

先週の記録

会長挨拶

会長 加藤 宗生君

皆さんこんにちは。

ガバナー補佐 武藤栄司くん、分区幹事 深石公彦くん、地区副幹事 森田乾嗣くん、地区スタッフ 二村憲くん、ようこそ春日井へお越しくださりありがとうございます。

今日で2022年度～2023年度も4分の1が過ぎました。「仲間を増やして奉仕をしよう」というテーマの割にはまだ会員増強がすすんでいません。

春日井は富山県の氷見ロータリークラブと姉妹クラブを締結しようと考えていますが、31万人の人口の春日井は1つのロータリークラブ、4万人の人口の氷見市は氷見ロータリークラブと氷見中央ロータリークラブと2つあります。他のクラブは春日井には4つ、氷見さんの方は把握していませんが、春日井ロータリーメンバーは52名、4万人の氷見さんは39名です。人口からすると春日井ももっと会員を増やしていかないといけないと考えています。

それから、今夜ブレーデン君の歓迎会が行われますが、ブレーデン君をプロ野球観戦に連れて行ってくれたり、谷口家を訪問してくれたり、青少年交換委員会を中心としたメンバーの皆さん本当にありがとうございます。引き続きよろしく願い致します。

簡単ではありますが私からの挨拶とします。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 下田 育雄君

- ・本日、例会終了後13:40よりクラブ協議会を開催いたしますので、理事役員・委員長・入会3年未満の方はご出席くださいますようお願い致します。
- ・10月28日のガバナー公式訪問後に、昨年より定期開催となりましたIAC連絡協議会を開催いたします。出席対象者は、会長幹事の他、会長エレクト、次期幹事、現青少年奉仕委員長、次期青少年奉仕委員長となります。特に次期青少年奉仕委員長の方は指名されましたらお忘れなないようにご注意願います。
- ・9月14日に名鉄グランドホテルにて開催されました地区国際奉仕委員長会議に小柳出委員長と参加してまいりました。会の中では、過去の他クラブがグローバル補助金事業としてどのようなことが行われたか事例共有が行われました。コロナ禍によりグローバル補助金事業がなかなか行われない中、次年度以降各クラブの行うグローバル補助金事業への期待の高さが伺えました。なお、本年度は様々な事情と状況により総合的に判断した結果、グローバル補助金事業への参加は取りやめることにしております。

- ・ホテルプラザ勝川より連絡です。駅南にあります市営の立体駐車場が来年2月中旬まで工事されることに伴い、普段皆さまがご利用されることの多い地下駐車場が代わりの駐車場として使われるとのことです。これにより、満車になるケースが多くなると思われるため、他のホテル契約駐車場のご利用を積極的にお考え下さいとのことです。

次週予告です

- ① 10月7日の例会開催前に第4回理事会を開催いたします。なおこの日の卓話は1982-1983年度のロータリー財団奨学生として留学されました、現在同志社大学教授の川浦様に卓話をお願い致します。
- ② 10月14日の例会での卓話は野間君にお願いしております。
- ③ 10月21日の例会では原発から排出される高レベル放射性廃棄物の処分問題をテーマとした卓話を予定しております。
- ④ 10月28日はガバナー公式訪問となっております。城北RC、空港RCとの3RC合同例会となっております。

出席報告

委員長 下別府正樹君

会員 52名	出席 35名	出席率 67.0%
先々週の修正出席	出席 52名	出席率 100.0%

ニコボックス報告

委員長 下別府正樹君

- 武藤ガバナー補佐、スタッフのみなさん、ようこそ春日井へ 加藤 宗生君
- ガバナー補佐ようこそ 下田 育雄君
- 武藤ガバナー補佐を迎える喜びで。結婚祝いありがとうございます 加藤久仁明君
- 早川さんの葬儀、受付の皆様お疲れさまでした。ガバナー補佐ようこそ 場々大刀雄君
- 10/1付の人事異動でワイエム証券山口支店へ転勤となりました。短い間でしたが大変お世話になりました。 村瀬 昌史君
- 今更ながら早川さんに感謝です 青山 博徳君
- 村瀬さんご栄転おめでとうございます。新天地でも頑張ってください 朽本 正樹君
- コロナ禍でリアル参加ができておりませんでした。改めましてよろしく願いいたします。 中澤 一君
- 武藤ガバナー補佐 Welcome to KASUGAI 古屋 義夫君
- ガバナー補佐をお迎えして 成瀬 浩康君 大西 信之君 大原 泰昭君
- ガバナー補佐ようこそ 清水 勲君 加藤 茂君 近藤 太門君

和田 了司君	風岡 明憲君	野浪 正毅君
川瀬 治通君	速水 敬志君	野間 峰彦君
社本 太郎君	長谷川久幸君	加藤 昭博君
芝田 貴之君	北 健司君	宅間 秀順君
三上 努君	中川 健君	下別府正樹君

○ご協力ありがとうございます。

出席・ニコボックス委員会

ガバナー補佐卓話

今期、東尾張分区のガバナー補佐をさせていただきます武藤栄司と申します。

簡単な自己紹介をさせていただきます。岩倉ロータリークラブ所属で区内最小クラブでもあり、ロータリアン歴は2012年1月入会の10年目と浅く、8分区のガバナー補佐の中で最年少の58歳と三拍子揃いの若輩者でございます。

出身校は愛知高等学校から愛知学院大学 商学部経営学科を昭和62年に卒業し、日産のディーラーにて3年間の営業職を経て、25歳で父が祖父より受け継いだ自転車販売修理業を自動車販売修理業へと昭和31年に転業をした、民間車検工場

(有)岩倉自動車「代理店名：スズキアリーナ岩倉」に平成2年に入社し、平成24年に代表取締役就任し現在に至っており、自動車業界の仕事に就いてから36年になりますが、何歳になっても勉強だと思い、今年5月から3ヶ月間、現役組の若者達に交じり講習に通い続け、毎晩1時間半勉強し続け、無事に「自動車検査員資格」に合格する事ができました。

仕事以外では「岩倉市消防団員」を今年3月の退団まで31年間、数多くの火災現場にて消火活動を経験しました。その中で、リフォームをして未だ2週間たらずの自宅の母屋が隣家の火災延焼にあい、その消火活動にまさか自分が携わるとは思いもよりませんでした。消防職員や消防団員の仲間が一生懸命消火活動に励んでくれましたが、残念ながら母屋は全焼となってしまいました。私はその火事現場では、責任感だけでまるで他人事のように冷静に淡々と消火ホースで消火活動をしていました。当時中学生だった娘の近所の友だちの男の子たちが、いつの間にか自宅の水まき用のホースを持参してきて、庭の水道に繋いで火を消そうとしてくれる姿を見て、私は「危ないから離れなさい！下りなさい！」と叫んでいましたが、とてもありがたく「友達はいいものだなあ」とつくづく実感させられました。子供たちにとって、見た事のない燃えさかる大きな炎は、とても怖かったはずですが、また父が消火器ではとても追い付かず、使用した何本もの消火器を大火の中に投げ込んで、何度も何度もバケツの水で火を消そうとしている姿や、燃えてしまった我が家を放心状態で眺めている姿を、私は一生忘れることはないと思います。父だけ足に火傷を負いましたが、

他の家族や消火活動に関わった方々に怪我がなかったことが何よりも幸いでした。正直申し上げますと、父が火災のショックでもうあまり長くないかとも思い、夫婦でこっそり喪服を新調しましたが、今ではその喪服がきつくて着られない様になり、父は今でも元気に生存しています。被災した事を自慢する事ではありませんが、その経験で火災だけではなく、水害や地震などで被災された方の不安な気持ちや心理状態を少し理解ができ、その方々に寄り添える心を持てる様になった気がします。

平成14年度と15年度に「岩倉市商工会青年部の部長」、現在は「岩倉市商工会理事」、市から委嘱を受け「岩倉市スポーツ推進委員(旧：体育指導員)」を25年間、現在は委員長で丹波地区の会長、西尾張地区の副会長、愛知県スポーツ推進委員の理事をしております。総合型地域スポーツクラブとして「岩倉スポーツクラブ」を平成20年に副会長として設立に携わり活動を重ね、現在は会長として運営及び会員にスポーツ指導をしております。

趣味は海外旅行(大学時代にアメリカ・イギリスと海外研修に行き以来はまり)今はコロナになり全く行けていませんが、今までに20ヶ国以上は旅してきました。ちなみにオーストラリアはシドニーとブリスベンには行った事がありますが、メルボルンには行った事はありません、可能であればセントパトリック大聖堂を訪れてみたいと思います。

中学・高校と6年間は卓球部に所属し、どちらも比較的責任のない副キャプテン。同地区には中京・名電・東邦高校が存在する為、大会試合はいつも2回か3回戦負けで、午後からは名古屋栄で遊べる私にとっては都合のいい運動部でした。

そしてキャリアだけは40年の下手なゴルフ(犬山CC・東建多度CC・オールドレイクGC・伊勢大鷲GC)のメンバー会員ではありますが、練習をしない事もありスコアは年々悪くなるばかりです。

大学時代の冬季12月～3月だけの4年間は山に籠り、志賀高原の横手山スキー場にてアルバイトでコパンプラン・プロスキースクールのインストラクターとしてスキーの指導をしていました。スクール生の常連客から成り上がり、高校3年の春休みからアルバイトを始め当時はこの道で食べていこうと考えていました。

少林寺拳法は三段で、岩倉道院に15歳から12年間通い、日曜日が割かれることもあって、三段は取得せず、道院生に指導をしていました。一時は道院長に道場を継がされそうになりましたが、現在は頼もしい後輩が引き継いでくれて安心しています。その他スポーツの審判資格などを少し取得しております。

私は姉が二人の三人兄弟の末っ子の長男で、住

まいは高齢の昭和2年まれ95歳の父、昭和9年生まれ88歳の母、二つ年下の妻の4人で、生まれ育った岩倉市で暮らしております。子供は29歳の娘がひとりだけで、2年前に嫁いでおり、現在は瀬戸市の公立陶生病院の小児科の医師で一児の母でもあります。岩倉RCはクラブ会員数が少ない事情もあり、2015-2016加藤陽一ガバナー年度と2020-2021岡部努ガバナー年度と、2回のクラブ会長を務めさせて頂きました。私は人が困っているとどうしてもほっとけない性分で、何においても断ることが特に苦手です。縁あって色々な役職に就かせてもらい、年齢の割には多くの経験をさせていただき、関わりのあったみなさんや、あきれ果っていた妻・両親・社員には本当に感謝しております。これらの経験が将来に向けて何か人や地域のお役に立てればと、日々考えているうちに、何故か役だけが増えていってしまいました。クラブ会員の皆様の中にも、同じ様な方は多いかと思えます。むしろそんな方々ばかりかもしれません。そんな方々に囲まれて過ごせるクラブ活動が、私の何ものにも代え難い財産であります。

ここからはガバナー補佐の役割としてのお話をさせていただきます。「クラブと地区を結びつけること」が一番の目的・使命だと考えております。さらには会員の声を聞き、情報やアドバイスをする事、「力不足ではありますが」スタッフのみなさんの協力を得て、クラブを成功へと導ける、又はきっかけとなるお手伝いできれば幸いです。そしてガバナー補佐としてお伝えすべきことは、
●女性初の国際ロータリー会長でジェニファー・ジョーンズ RI テーマである「イマジン ロータリー」について

●今年度、籠橋美久ガバナー地区スローガンについて「未来を描こう、笑顔でつながろう」
～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

最後に地区活動方針・強調事項についてご説明をさせていただきます。

「イマジン ロータリー」

これが、ジェニファー・ジョーンズ会長が2022年1月に発表した2022-23年度会長テーマです。ジョーンズ氏は、大きな夢を抱き、行動を起こすことをロータリー会員に求めています。「私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。

私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」このロゴは、オーストラリアの先住民族でグラフィックデザイナーのリキ・サラム氏によってデザインされました。サラム氏は、メルボルンで開催される2023年ロー

タリー国際大会のロゴも手がけており、視覚的によくわかるよう目に見える形で表現しています。このデザインには、各所に深い意味が込められています。例えば、先住民アボリジニの文化で「円」は互いにつながっていることを意味しており、その周りにある7つの点は「人」をあらわすと同時にロータリーの7つの重点分野を表しています。

ここでもう一度ロータリーの7つの重点分野についておさらいしてみたいと思います。ロータリーの重点分野とは、世界で必要とされるロータリーの7つの人道的な問題を重点的に取り上げるものです。2021年度からは従来の6つの重点分野に加えて「環境」が加わりました。丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり「私たちの進むべき道の道しるべ」を表しています。その下の太い緑の線は、なんでしょう。これはいわゆる「掘り出し棒」すなわち必要なものを掘り出す道具を表していて、力仕事をするときを使うものだということです。行動を起こす仲間であるロータリー会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。

次に、色について申し上げます。ジェニファー・ジョーンズ会長は、公式行事で服装を整える際、テーマジャケットではなく、これらの色（一つでも、三つすべてでも可能）を使うよう2022-23年度ガバナーに要請しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを強調していくにあたり、私たち一人ひとりが着るもので自分を表現しながら、つながりを持てるようにしたかった」とジョーンズ氏は説明しています。実は、色の解釈については何通りかあります。その中の一つを例にとりますと、緑は新たに加わった重点分野の「環境」、そして白は私たちの中核的使命である「平和」、紫は「ポリオ根絶」を表しているとしています。

次にイマジンについてです。ジェニファー・ジョーンズ会長は「想像してみてください」とおっしゃっています。「ポリオのない世界を想像してみてください」「みんなが安全な水を使える世界を想像してみてください」、「疾病のない世界、すべての子どもが読める世界を想像してみてください」、「やさしさ、希望、愛、平和を想像してみてください」、だからこそ「イマジン ロータリー」がテーマなのですとジェニファー・ジョーンズ会長は呼び掛けています。

次に、ジェニファー・ジョーンズ会長は今年度「DEI」の積極的な推進を強調しています。これは地区研修・協議会やPETSでも説明されたことですので重複することも多くあると思いますが、ロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織になるよう努

力する事が必要であるという事です。ダイバーシティ・多様性とは、年齢・性別・民族・宗教・疾病・障害・国籍・教育等の違いを尊重し、あらゆる背景を持った人を歓迎するという事です。

エクイティ (Equity)・公平さとはロータリーで言う公平性とは、情報・機会・リソースへのアクセスについて、すべての人に公平な扱いを保証しようとするものです。関連して、ロータリーで使われるフェロシップについてです。フェロシップとフレンドシップは違います。ただ仲良くするフレンドシップと違い、フェロシップは同じ志をもって共に行動するという事です。ロータリーで言う「親睦」はフレンドシップではなく、フェロシップなのです。

次にインクルージョン (Inclusion) についてです。これは、直訳すると包括・包含という意味です。包括は全体をまとめること、包含は大きなまとまりの中に含ませるという意味です。どのような個人・集団であっても、歓迎され、尊重され、支援され、参加できるようなインクルーシブな環境を作るということです。多様な個性を受け入れるだけでなく、個性を尊重して、すべての人が活躍できる環境を整備するのが、インクルージョンの考え方であり、ダイバーシティを実現するための概念だと思っています。立場や考え方の違いを超えて、すべての人が平等に活躍できる社会の確立が求められている現在、ビジネスシーンでもインクルージョンの概念は今後さらに注目が集まるでしょう。つまりロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織になるよう努力することが必要であると思います。RI 会長は、すべての会員がロータリーとの強いつながりを実感できるようにするためには「会員がクラブに対して心地よさを感じることに、そして、会員への配慮」が必要であるとおっしゃっています。これは冒頭に申し上げました今期のロータリーのテーマにも共通する考えだと思っています。

もう一度テーマに戻りますと、ジェニファー・ジョーンズ会長は「想像してみてください」とおっしゃっています。

「ポリオのない世界を想像してください」

「みんなが安全な水を使える世界を想像してください」

「疾病のない世界、すべての子どもが読める世界を想像してください」

「やさしさ、希望、愛、平和を想像してください」だからこそ「イマジン ロータリー」がテーマなのと呼び掛け、このメッセージが重要な意味を持つことを願っています。

箆橋ガバナーの地区方針であるスローガン

「未来を描こう、笑顔でつなごう」

～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

1. 計画的なクラブ運営・活動を行いましょう

- ・クラブセントラルに登録し、定期的な検証を行い、年間目標の達成を実現しましょう
- ・年間活動計画を明確にクラブ会員に周知し、奉仕事業を成功させましょう
- ・クラブとして数値目標を立て、クラブ会員に周知して活動しましょう。

2. 会員の増強をしよう

- ・会員 5,000 名の目標を達成しましょう
仲間が多くなることは、明るく・楽しい活動的なクラブとなります。
- ・女性会員の在籍率 8% を目標として増強しましょう。
現在世界での女性会員は 25%、日本の女性会員は 7.2% (2760 地区は 6%) であり、ジェンダークラスを改善して参ります。
- ・若い年齢層の入会を促進させましょう。
皆さんと一緒に笑顔を増やすべく、会員増強に向けて頑張ってください。

3. ゴミ投棄防止運動

- ・自分の街からごみをなくそう
- ・河川の美化を図ろう
- ・海岸の美化を図ろう
- ・生態系を守ろう
特にごみ放棄、海洋マイクロプラスチックの投棄に関するストップ運動を行いましょう。環境問題の解決に向けて、私たち一人一人にできることから、取り組みを始めていきましょう。環境問題は、将来を担う子供たちのかけがえのない未来を奪うものであると理解しておかなければなりません。

4. ポリオ根絶への貢献

- ・ポリオ根絶募金活動をロータリー財団中心に実施し、地域社会へのアピールを行いましょう。
今年の 7 月 21 日に米ニューヨーク州・ロックランドの住民がポリオを発症しました。他人に感染させる恐れはすでに無くなっているようですが、8 月 13 日にはポリオウィルスがニューヨーク市内の下水システムからも検出されております。ポリオウィルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。治療法はありませんが、安全なワクチンでの予防が可能です。

「世界からポリオを根絶する、そしてポリオのない世界の実現」という最終目標を達成するために、全ての国や地域で予防接種を続けなければなりませんポリオ根絶へのご理解と一層の御支援をお願い致します。

各地で計画されたイベント (例えばワールドフード+ふれ愛フェスタ (WFF)) にて、地域社会への広報に努め、公共イメージ向上に協力し

ましょう。

5. 公共イメージ向上

- ・奉仕活動を地域社会にアピールしましょう
- ・MY ROTARY の登録の促進を図りましょう
登録率 50%を目指すMy ROTARY ではロータリー
会員向けの情報やツールをご利用いただけます。
- ・ホームページの活用を促進しましょう
- ・地区内各委員会との連携を図りましょう

6. 地区大会 みんなで成功させよう！

開催日：11月12日（土）、13日（日）

名古屋観光ホテル（第1日目）

愛知県国際展示場（第2日目）

7. 第10回ワールド・フード+ふれ愛フェスタ

（WFF）開催

WFFの3つの目的

(1)収益金による人道的奉仕活動（ファンドレイ
ジング）

(2)ロータリーの公共イメージ向上

(3)ポリオ根絶に参加

開催日：2023年4月15・16日

場所：エディオン久屋広場

8. 国際大会（メルボルン）へ参加しよう

- ・2023年5月27日（土）～31日（水）
ガバナーナイトを開催しますので、多くの皆さ
んの参加をお待ちしています。

お願い事ばかりで大変恐縮です、立場上どうしてもお願いせざるを得ないことばかりです。勘違い甚だしいとおっしゃられる方もおみえになると思いますが、嫌われることを覚悟でお願いをさせていただきました、どうぞよろしくお願い致します。箆橋ガバナーは、「活動方針の本質は笑顔にある」とおっしゃられています。私たち自身が笑顔を忘れず、一人でも多くの人たちを笑顔にすることが大切です。ロータリーがこれまで蓄積してきた過去の実績を踏まえ、さらに多くの笑顔に溢れた未来を実現していきましょう。そのためには今の時代に即した改革が必要です。過去に学び、未来を想像しながら、近隣クラブやロータリアン同士が知恵を出し合いながら一丸となって活動を進めていきましょう。会員のみなさん積極的な参加をお願いいたします。以上のメッセージをお伝えして私の卓話の結びとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



ガバナー補佐との懇談会



委員会報告 出席・ニコボックス委員会
下別府 正樹君



委員会報告 親睦活動委員会 三上 努君



委員会報告 青少年奉仕委員会 森部 清孝君



卓話スライド 会長メッセージ



会長挨拶 加藤 宗生君



幹事報告 下田 育雄君



卓話 ガバナー補佐 武藤 栄司君



クラブ協議会



中部大春日丘高インターアクトクラブ

